大田区教育委員会　理科教育推進拠点校
令和７・８年度 大田区教育委員会教育研究推進校
国立教育政策研究所 令和８年度教育課程実践検証協力校

誰もが自信をもって考察を書き、主体的に問題解決する児童の育成

～次の学習につなげる考察場面を意識した授業改善を通して～

先生もこどもも、
誰もが考察に自信をもってほしい！

令和８年11月2日(月)
大田区立萩中小学校

萩中小の研究

理科の授業で、

どの場面に難しさを感じますか？



- 事象との出会い
- 問題の設定
- 予　想
- 計　画
- 観察・実験
- 結　果
- 考　察
- 結　論

考察に関する意識調査



大田区・東京都・本校教員
若手教員を中心に調査
（主に１年目～３年目）

約５０名

７５％の教員が苦手意識を感じている

考察に関する意識調査

考察になにを書かせればよいのかわからない。

考察場面で手が止まってしまう児童が多い。



考察が書けるようになるまで、どのように児童を導けばよいのかが難しい。

書かせたあと、なにをすればよいのかわからない。

本校教員の実態

考察場面の指導に課題を感じている教員が多い。



児童の実態

自分の考えを表現することが苦手。

考察場面で、手が止まる。

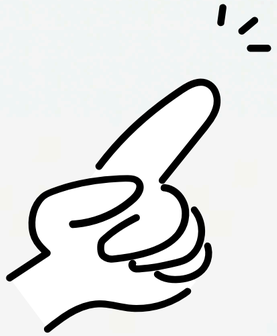


令和５・６年度　→

令和３・４年度　→

Check!

令和７・８年度



- 事象との出会い
- 問題の設定
- 予　想
- 計　画
- 観察・実験
- 結　果
- **考　察**
- 結　論

先生もこどもも、
誰もが考察に自信をもってほしい！

先生もこどもも、
誰もが考察に自信をもってほしい！

研究主題

誰もが自信をもって考察を書き、主体的に問題解決する児童の育成

～次の学習につなげる考察場面を意識した授業改善を通して～

研究の手だて

研究の手だて

だれすぐ！

01 誰もが使える萩中「考察シート」　【中学年用・高学年用 説明書付】

02 ≪個人→小集団→全体≫を基盤とした学習の流れ

03 予想から考察までの過程を振り返るICT活用

萩プラ！

04 考察シートに「＋（プラス）」を追加

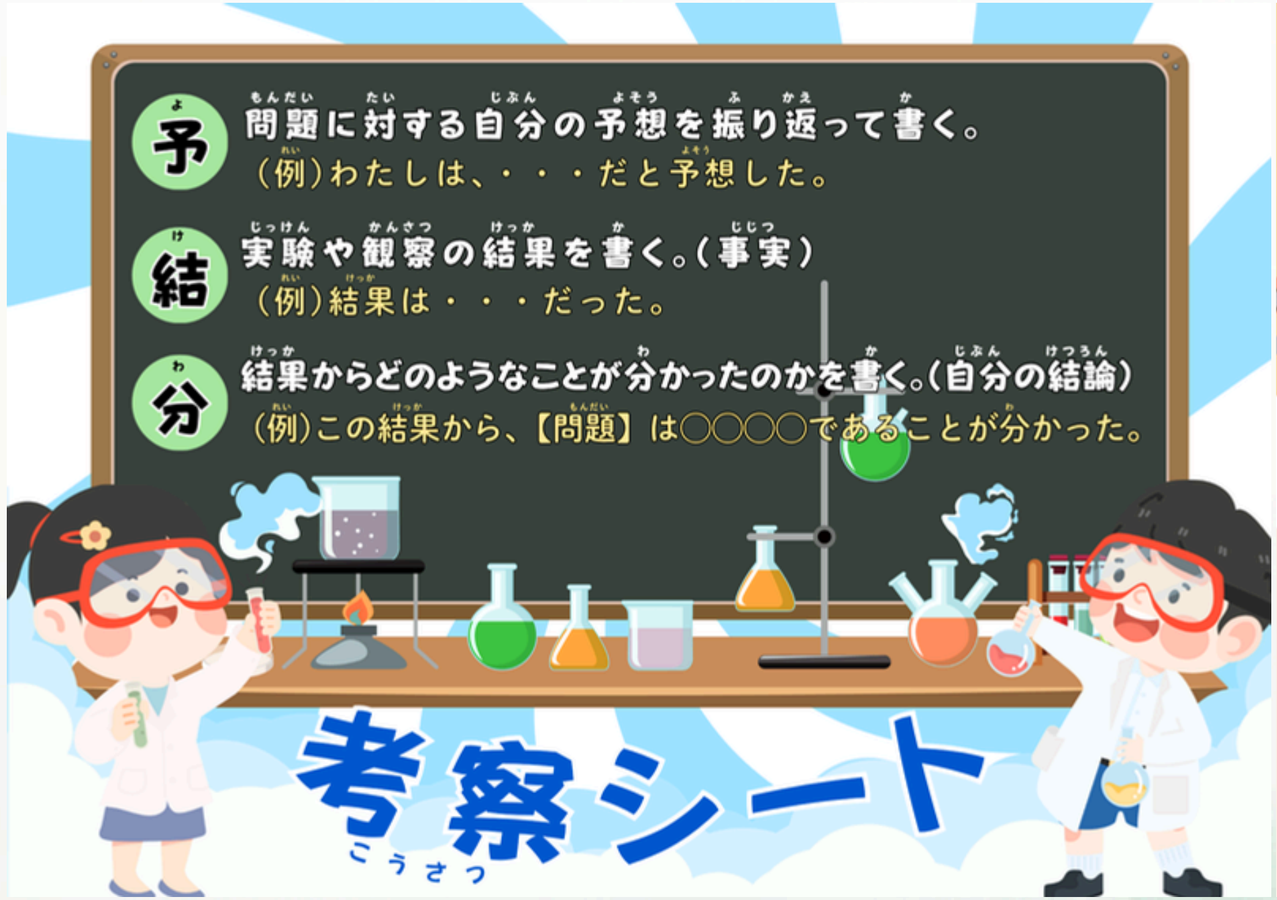
05 考察がすぐ書けるようになる「結果の見通し」の場面を追加

だれすぐ！

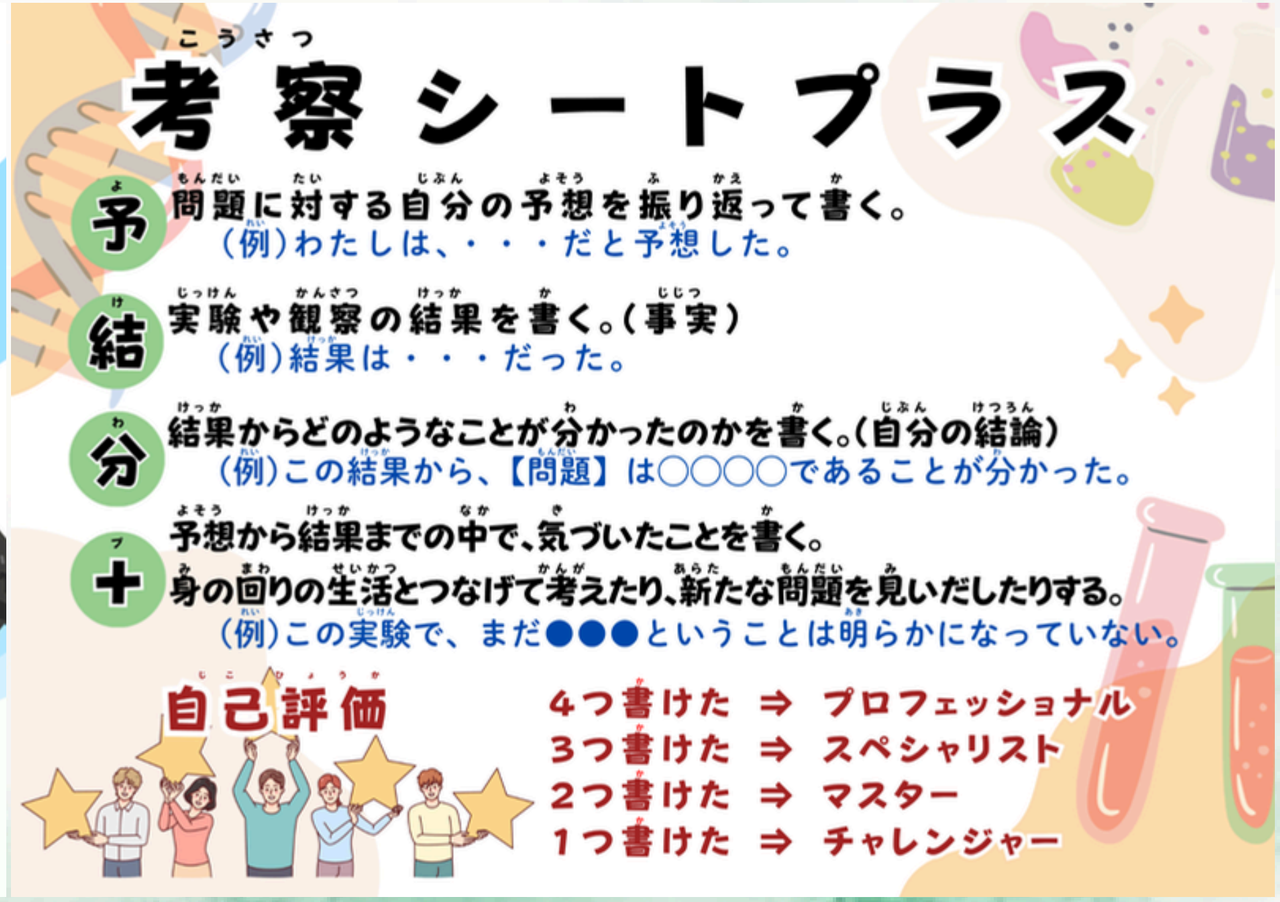
誰でもすぐできる(３つの取組)

01 誰もが使える萩中「考察シート」 【中学年用・高学年用 説明書付】

中学年用



高学年用



01 誰もが使える萩中「考察シート」 【中学年用・高学年用 説明書付】

考察シートプラス

予 問題に対する自分の予想を振り返って書く。
（例）わたしは、・・・だと予想した。

結 実験や観察の結果を書く。（事実）
（例）結果は・・・だった。

分 結果からどのようなことが分かったのかを書く。（自分の結論）
（例）この結果から、【問題】は○○○○であることが分かった。

＋ 予想から結果までの中で、気づいたことを書く。
身の回りの生活とつなげて考えたり、新たな問題を見いだしたりする。
（例）この実験で、まだ●●●ということは明らかになっていない。

自己評価



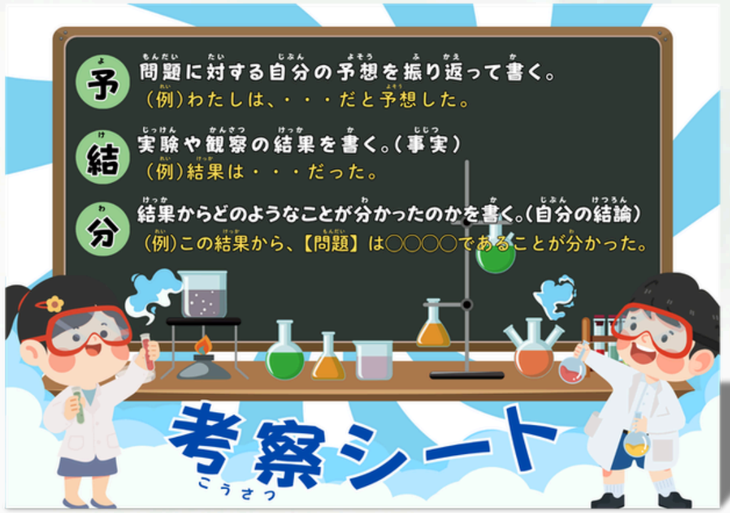
4つ書けた ⇒ プロフェッショナル
3つ書けた ⇒ スペシャリスト
2つ書けた ⇒ マスター
1つ書けた ⇒ チャレンジャー

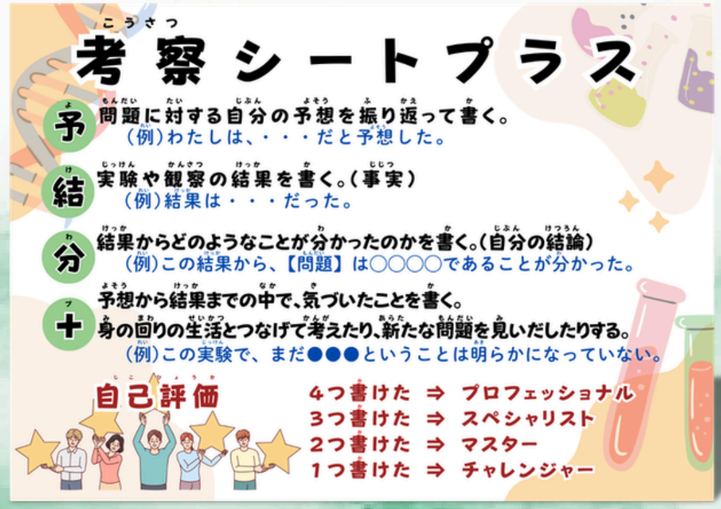
01 誰もが使える萩中「考察シート」 【中学年用・高学年用 説明書付】

手順がわかる

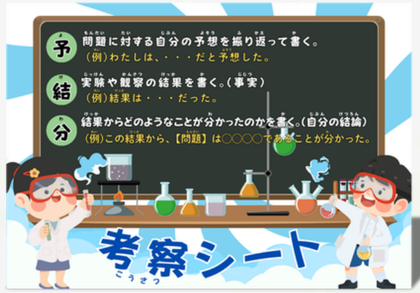
ふり返りができる

授業改善の材料になる





01 誰もが使える萩中「考察シート」 【中学年用・高学年用 説明書付】



だれでもできる！「考察シート」 活用のポイント

考察では、観察・実験の結果から、どんなことが言えるのかを書かせることが大切です。
そのため、予想や、観察・実験の結果などをきちんと言語化させて振り返ることが欠かせません。

結果（事実）を書く

「結果」は「分かったこと」と違い、自分の解釈や判断を入れません。あくまで事実（写真・図・イラスト・表）を改めて言語化させることが大切です。

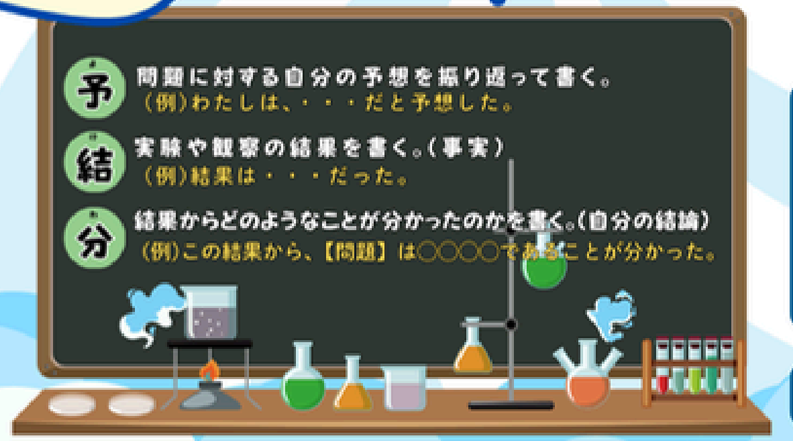
予想を振り返る

自分の立てた予想と、実験結果を比べることで、予想の質を確かめることができます。予想と結果が違っていたことを理解することも大切。予想が違っていたときの原因を考えることで考察が深まります。

分かったこと（解釈）を書く

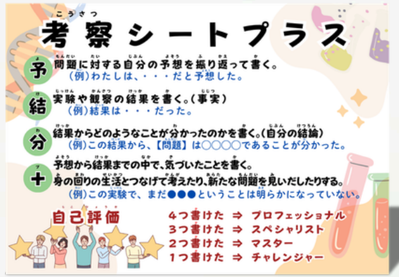
結果（事実）から、今回の問題の結論を個人で考えさせます。問題と結論が正対するように、ここで改めて問題を書いた上で、起こった現象を一般化させることを目指します。

※一般化…個別の事例や現象を、抽象化すること。事象を「きまり」にしていくこと。



考察シート
データダウンロード

01 誰もが使える萩中「考察シート」 【中学年用・高学年用 説明書付】



ワンランク上

「考察シートプラス」活用のポイント

「だれでもできる考察シート」の項目に、「＋」の項目と、自己評価を追加しています。

考察シートプラス
データダウンロード

プラスの価値

「問題」に対する「結論」以外にも、気付いたこと、気になったこと、もっと知りたいことなど、子供の学びは多様です。次の「問題」の見いだしにつながる「問い」になることもあります。また、身の回りの生活とつなげて考えさせることは、理科を学ぶ価値を深めることにもなり、大切な視点です。

自己評価

「予」「結」「分」「＋」のうち、いくつ書けたかで自己評価をさせます。明確な基準があることで、よりよい考察を書く意欲につながります。また、児童の自己評価を基に、教員自身の授業改善にも生かせます。

予 問題に対する自分の予想を振り返って書く。
（例）わたしは、・・・だと予想した。

結 実験や観察の結果を書く。（事実）
（例）結果は・・・だった。

分 結果からどのようなことが分かったのかを書く。（自分の結論）
（例）この結果から、【問題】は○○○○であることが分かった。

＋ 予想から結果までの中で、気づいたことを書く。
身の回りの生活とつなげて考えたり、新たな問題を見いだしたりする。
（例）この実験で、まだ●●●ということは明らかになっていない。

＋ 自己評価



4つ書けた ⇒ プロフェッショナル
3つ書けた ⇒ スペシャリスト
2つ書けた ⇒ マスター
1つ書けた ⇒ チャレンジャー

02 ≪個人→小集団→全体≫を基盤とした学習の流れ



① 個人

② 小集団



③ 全体



03 予想から考察までの過程を振り返るICT活用



予想からすぐ振り返ることができる

オクリンクプラス



他者の意見を参考にできる

萩プラ！

萩中プラス（２つの取組）

萩中プラスは、主に高学年が取り組むと、
発達の段階に合わせて指導しやすい！

04 考察シートに「＋（プラス）」を追加

考察シートプラス

予 問題に対する自分の予想を振り返って書く。
（例）わたしは、・・・だと予想した。

結 実験や観察の結果を書く。（事実）
（例）結果は・・・だった。

わ 結果からどのようなことが分かったのかを書く。（自分の結論）
（例）この結果から、【問題】は○○○○であることが分かった。

プ 予想から結果までの中で、気づいたことを書く。

＋ 身の回りの生活とつなげて考えたり、新たな問題を見いだしたりする。
（例）この実験で、まだ●●●ということは明らかになっていない。

自己評価



4つ書けた ⇒ プロフェッショナル
3つ書けた ⇒ スペシャリスト
2つ書けた ⇒ マスター
1つ書けた ⇒ チャレンジャー

「＋」に書くこと

- 気付いたこと
- 身の回りの生活とつなげる
- 新たな問題を見いだす

05 考察がすぐ書けるようになる「結果の見通し」の場面を追加



５年
流れる水のはたらき

問題

流れる水のはたらきが大きくなるのは、どのようなときだろうか。

予想

台風のときに、雨の量が増えて、流れる水のはたらきが大きくなると思う。



05 考察がすぐ書けるようになる「結果の見通し」の場面を追加



5年
流れる水のはたらき

問題
流れる水のはたらきが大きくなるのは、どのようなときだろうか。

予想
台風のときに、雨の量が増えて、流れる水のはたらきが大きくなると思う。



A　流れる水の量が増えた時に、土を大きく削った場合、自分の予想が合っていると言える。

B　流れる水の量が増えても、土を大きく削らなかった場合、自分の予想が違ったと言える。

05 考察がすぐ書けるようになる「結果の見通し」の場面を追加



5年
流れる水のはたらき

問題
流れる水のはたらきが大きくなるのは、どのようなときだろうか。

予想
台風のときに、雨の量が増えて、流れる水のはたらきが大きくなると思う。

A　流れる水の量が増えた時に、土を大きく削った場合、自分の予想が合っていると言える。



05 考察がすぐ書けるようになる「結果の見通し」の場面を追加



5年
流れる水のはたらき

問題
流れる水のはたらきが大きくなるのは、どのようなときだろうか。

予想
台風のときに、雨の量が増えて、流れる水のはたらきが大きくなると思う。



B　流れる水の量が増えても、土を大きく削らなかった場合、自分の予想が違ったと言える。

生活科

思いをもつ・深める・広げる
そして、学びをつなぐ



研究主題

自然の楽しさや面白さなどのよさに気付き、自分の思いや願いをのびのびと表現できる児童の育成

～　生活科の深まりを、理科の学びへ　～

生活科における学びを深める3つの手だて

① 児童のワクワクを引き出す環境構成	活動に、自分の思いや願いをもてるようにする
② 他教科と関連付けた学習	自分の考えを深めるようにする。
③ 話合いを活性化するためのICT活用	活動したことや考えたことを表現する。

①活動に、自分の思いや願いをもてるようにする

児童のワクワクを引き出す環境構成

- 季節・自然を感じるコーナーをつくる





- 生き物の飼育・植物の栽培コーナーを設ける



②自分の考えを深めるようにする。

他教科と関連付けた学習

国語 × 生活科

③ 活動したことや考えたことを表現する。

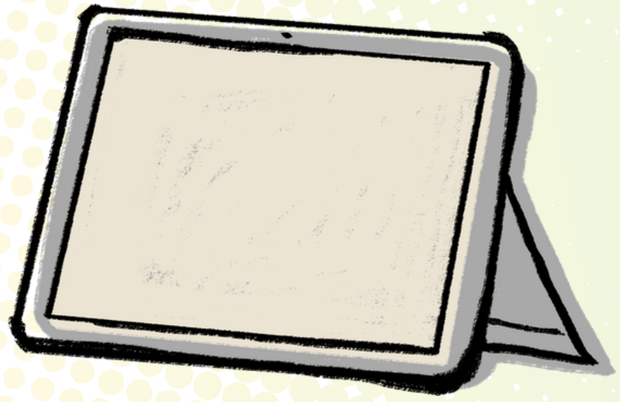
話合いを活性化するためのICT活用

ICT
活用

全員の思いを
可視化する

他者の考えを
共有する

自分の考えを
整理する



その他の取組

萩中小「理科サポ」

誰でも質問・相談できる場を設定！



Googleクラスルーム

授業動画・学習指導案

講師の先生の講話・資料などを配信



令和7年度より

理科指導専門員による理科指導に関する記事を月に1回程度配信

理科指導専門員による『萩中サイエンスタイム』



①移動
プラネタリウム



②開校記念
サイエンスショー



③JAXA
宇宙教室

研究の成果と課題

児童アンケート（考察シートの書きやすさ）

Q.考察シートを使うと、結果から自分の考えをまとめて書きやすかったですか。

ほとんどの児童が「書きやすい」と実感！

３年～６年

84.5%

児童の声

「例が示されているからわかりやすい。」
「自分の考えを簡単にまとめられたので書くのが楽しくなった！」
「たくさん考えが出てくる！時間もかからない！」

考えることが好きになる児童が増加！

学習効果測定での正答率向上

大田区学習効果測定
目標値に対する平均正答率のポイントの差

どちらの学年も、上昇した！

第5学年

+10.1 ポイント

第6学年

+5.7 ポイント

保護者アンケート（肯定評価の増加）

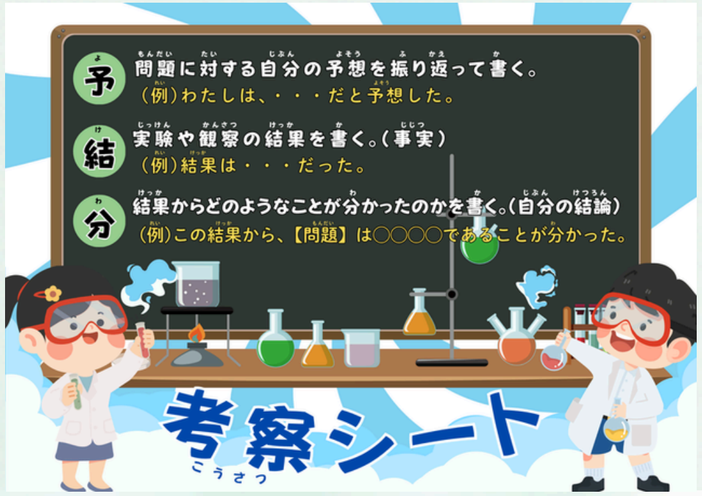
Q.児童が自分の考えを表現しているか。

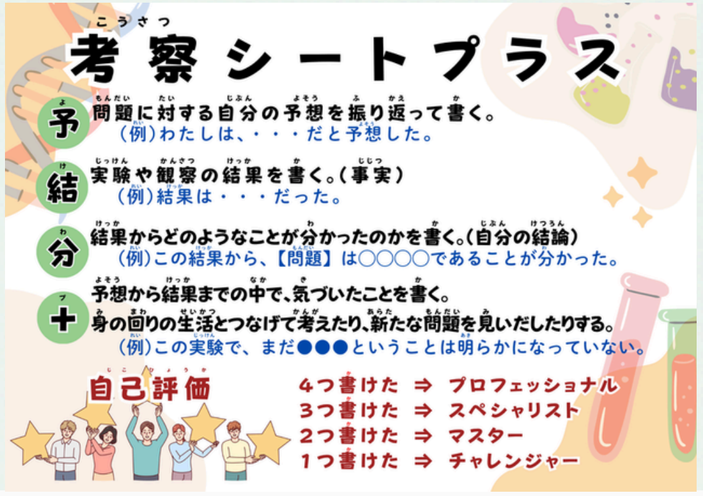
保護者も実感！

令和６年度	令和７年度
75.2%	78.9%

研究の課題

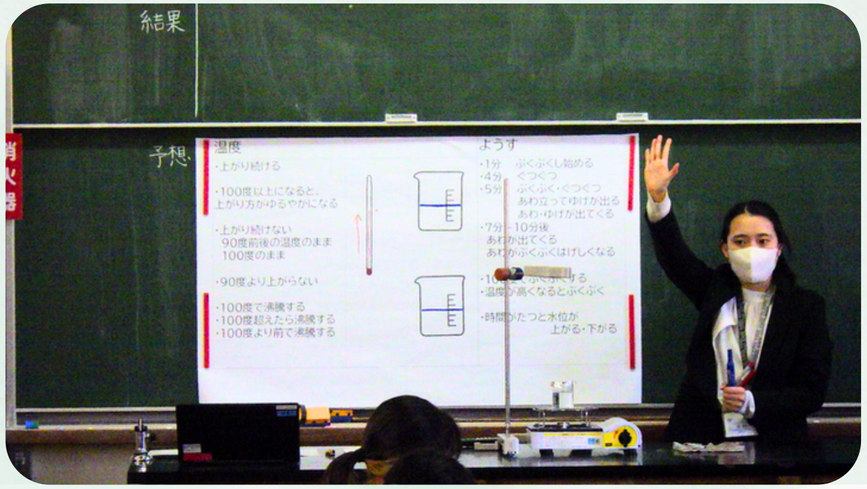
「考察シート」の項目や言葉が、児童の思考を十分に引き出すものになっているかを継続的に検証する必要がある。

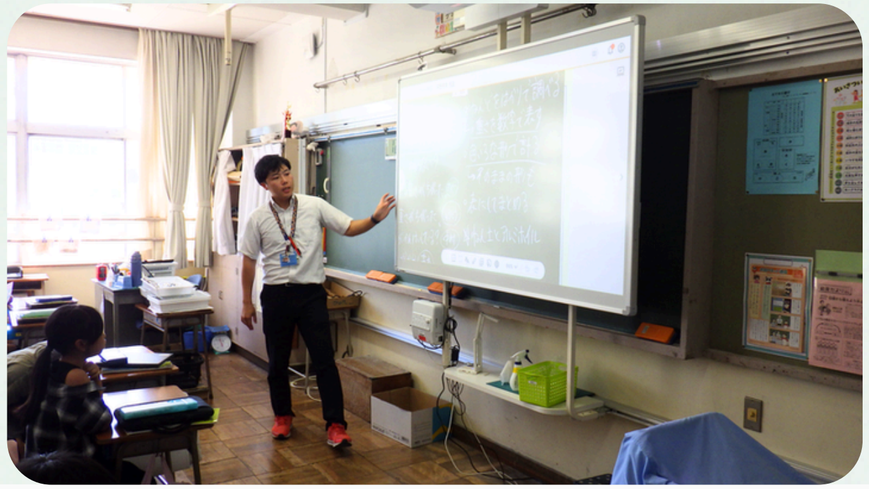




研究の課題

特定の教師だからできる実践にとどめず、誰もが自分の授業に生かせる形で整理・共有していくことが課題である。





ご清聴ありがとうございました。



令和８年11月2日(月)

大田区立萩中小学校